

総合訪問第2弾



子どもの成長は教師の流した汗に比例する！

7月に入り、更に3校の総合訪問が行われました。どの学校も、教職員が一丸となり、子どもたちの成長を見守り続けていることが、よく伝わってきました。今回も3校の特徴ある教育活動を紹介します。

◆積極的なボランティア教育

「思いやりの木運動」では、友達一人一人のよさをお互いに見つけています。また、「花の日運動」「ボランティアタイム」も行っています。独居老人のお宅を訪ねる「友愛訪問」により、人を思いやる心・ふるさとを大切に思う心等を育てています。JRCの活動も積極的で、これまで3回の全国表彰を受けています。

奥州市立古城小学校

全職員が全児童の担任である！



《100年間子どもを見守り続けた柳》

◆異年齢交流

たてわり清掃やたてわり遊びにより、異学年の交流を図っています。違う学年の子どもたちと関わることによって、リーダーシップや協調性が育ってきています。

◆満点テスト

年4回実施し、国語・算数の漢字や計算だけでなく、基礎的基本的な学習内容の定着を図っています。一週間の中で何度も挑戦し、全員が満点を目指して努力しています。

一関市立日形小学校

◆学習指導の充実と学力向上

学力向上会議を年3回実施し、子どもの実態把握や指導の改善に努めています。授業は、体験的・問題解決的活動を通し、自ら課題発見・課題解決ができるように工夫しています。家庭学習については、各学年の時間や内容・手立て・評価を全教員で確認し、見通しをもって計画的に取り組んでいます。



◆開かれた学校づくり

積極的な情報発信や意見把握に努めています。「迎える」から「出向く」ことを大事にし、独居老人宅に案内状を届けながら交流しています。実際に訪問することで、小さい頃の話や聞いた、喜んでもらえたりする経験を積んでいます。

◆復興教育

「水害常襲地帯」として800年の歴史をもつ日形地域を知る学習を大切にしています。郷土を愛する「人づくり」と「体験から学ぶ」ことを中心に、意図的・計画的に実施しています。

◆全職員の力で授業改善

ワークショップ型の校内研を実施し、学校全体で指導力の向上を目指しています。授業と連動した家庭学習の取組にも力を入れており、授業で学習内容をまとめることができ、家でその内容を親に伝えられるよう指導しています。教材教具も整備されています。

奥州市立広瀬小学校

◆心の教育も全職員で

全校朝会では先生方交代で読み聞かせをしたり、講話をしたりしています。毎月の生徒指導交流会等では、一人一人の良さも確認しながら児童理解に努めています。98%の子どもが「学校が楽しい」と回答しています。



《復興の願いを七夕に込めて》

◆地域意識を高め復興教育を

学区外からも見物にくるとい「広小剣舞」は、地域のお師匠さんから教わり先輩から後輩へ代々伝わっています。地域意識を高めることが、復興教育につながっています。

復興教育の推進を！

《外山敏所長の挨拶より》



4つの視点・8つの教育内容を基に、「**学校の色**」を出した取り組みが大切です。
『被災地は、24時間被災地である。』（戸羽陸前高田市長）を胸に、風化させない努力を。